

広報けいせい

6月
2026

梅雨の時期
美しく咲き誇る季節の花々

恵の杜屋上庭園に咲く花々

特集
地域の方に支えられて

とうかいどう保育園開設15年
とごしの杜保育園開設10年

Keisei-fukushisai

社会福祉法人
恵正福祉会



この冊子は法人ホームページのブログ「広報けいせい」の記事を基に作成したものです。
左のQRコードからブログをご覧いただけます

見てください! 私たちの成果

はーとさぼーと阿久和

先日、はーとさぼーと阿久和にお伺いしました。部屋に入って真っ先に目に飛び込んできたのは高く積み上げられたタオルの山でした。

一つ一つが丁寧に折りたたまれており、ちょうど納品時期が近づいてきているのかな?って思いました。

「お久しぶり」

ご利用者からお声掛けいただきました。そういえば少し間が空いてしまったかもしれませんね。作業の邪魔にならない程度に簡単に雑談させていただきました。

はーとさぼーと阿久和は生活介護事業ですが主に軽作業を行っています。

今回は洗濯済みのタオルを畳んでいく作業ですが目に見えて成果がわかるのが嬉しいです。

「こんなに頑張ったんだ」

それが見てわかるというのが作業をしてく上でも励みになるのかもしれません。



積み上げられたタオルはインパクトがありますね。もちろんこの後丁寧に袋に入れて納品にいきます



休憩時間にはくつろいだりスマホを楽しんだり、それぞれです



梅雨の時期でも 季節のお花で 和やかな気持ちに



梅雨の時期でも・・・ 通所リハビリテーション恵の杜

早いものであつという間に梅雨の時期になりました。雨が多くて蒸し暑く憂鬱な気分になりがちなこの季節ですが、本日、通所リハビリテーション恵の杜にお伺いした時に、この時期ならではの美しい紫陽花が飾ってありました。

ご利用の方が持参してくださったようです。とても綺麗で見ただけで気分が和らぐような気がしてきました。

そしてふと壁を見ると紫陽花やカタツムリの制作物が展示してありました。本物の紫陽花も制作の紫陽花もどちらもいいものです。撮影に訪

れた当方も十分に楽しませていただきました。

ご利用者の皆様は今日もフロアで談笑したり、機能訓練室でリハビリをされていました。午後はレクリエーションがあるようです。梅雨のこの時期乗り切っていきましょう。



四季の花が咲く 屋上庭園で季節を感じる

介護老人保健施設恵の杜



介護老人保健施設恵の杜にお伺いした時、ふと「そういえば屋上庭園はどんな様子になっているんだろう」と思いました。

恵の杜には屋上庭園があり、周囲には各季節の花が植えられているのでどの時期でもその時々の花を見ることが出来ます。

さて、今回屋上庭園に行ってみると、思っていた以上に季節の花が美しく咲いていました。

中でも紫陽花はこの時期ならではですね。スッキリしない時期ですが紫陽花をみると元気になってくるような気がします。

咲いている花で季節を感じるとい

うのはとても素敵ですね。

しばらく美しい屋上庭園で時を過ごしました。

気候がいい時はご利用者も屋上庭園で楽しまれると聞いています。介護老人保健施設にお越しの際は是非とも屋上庭園でつくりがれるのがはいかがでしょうか。



とごしの杜保育園

粘土や道具を使って 考えているものを形に

先日、とごしの杜保育園のお友達の部屋にいくと、奥のテーブルで何かを準備しています。

何をするのかな？見ていると粘土が出てきました。どうやらみんなで粘土を始めるようですね。自分たちのイメージするものに作り上げていくようです。

一体どんな作品が出来上がるのでしょうか。きっとお友達それぞれ思い思いの作品に仕上がっていくのかもしれないね。

見ているとお友達によって作り方は様々。小さいパーツを丁寧に作っていたり、大きな塊を変形させていたり。もちろん正解はありませんね。自分の考えているものをそのまま形にしていきます。

粘土の横では面白いオモチャで作品を作っていました。穴にペンを差し込むと差し込んだ穴だけ銀色の小さい球が浮かび上がってくるような仕組みになっています。見本がいくつかあり、見本どおりにやっているとお城や動物などの絵になっていきます。

これもある程度想像力が必要なのかな？想像通りの形になるといいね。



新しい仕事をいただきました 雑巾へ再生します

就労継続支援B型
わーくさぽーと阿久和



わーくさぽーと阿久和ではこの度、有限会社ホワイトデリバリー様のご好意によりお仕事をいただくことができました。

タオルを切ってミシンで縫って雑巾にするお仕事です。

今日は現場に行ってみましたかと思っていたよりもタオルに厚みがあって最初は切るのに手間取っていたようです。でも徐々に慣れてきて次々と裁断していたようです。

裁断したタオルはミシンで縫っていくのですが、ミシンの作業は集中して行きたいのでミシンのための部屋を設けてそこで作業していただくこと

にしました。

職員が付いて使い方などを教えながら作業していきます。最初は難しかったミシンも作業していくうちに使いこなせてきたようです。

フットスイッチも使ってどんどん縫っていきます。

作業の目安として1日150枚程度を目指しています。ご利用者の皆様も初めての作業で最初は戸惑っていましたが、2～3日で慣れ、1日100枚ほど作成できるようになりました。

せっかくいただいた仕事です。今後は企業様のご要望にそって進めていきたいと思ひます。



放課後等デイサービスえがお しながわ水族館にいきました

放課後等デイサービスえがおのお友達はしながわ水族館に遊びに行ってきました。

イルカのショーではお友達は大興奮
「おお!すごい!! ジャンプしてい

るよ!」

「あんなに高く飛べるんだ!」

そんな風に伝わってきました。

思わず手を振り上げて飛び上がるイルカを応援しました。

周りの観客も盛り上がってしまし



たよ。

水槽では小さい魚やカニもいました。生きているカニなんてあまり見ることがないですね。そして何と魚と一緒に泳ぐ水族館スタッフもいましたよ。

今日は天気も良くて屋外でも楽しむことができました。

イルカのジャンプや普段見ないような魚もいたし、豊富な海の生き物も見ることができました。とても良い体験になったと思います。また機会があったら来てみたいですね。



特集

地域に支えられて 保育園としてのあゆみ

この4月でとうかいどう保育園は設立15年、とごしの杜保育園は設立10年を迎えました

2011年3月。忘れることができないあの災害が発生したその一月後の2011年4月に、とうかいどう保育園は運営を開始しました。

災害の影響で予定していた物品の納品がままならず、行政とも協議のうえ、保育に大きな影響がない一部物品が未納の状態での運営開始となりました。

実はとうかいどう保育園は全くの新規の事業ではなくNPO法人が運営する認可外保育所「東海道保育園」がその前身でした。保育需要の増加に伴い認可保育所として運

営する話が出たことから社会福祉法人恵正福祉会が運営を引継ぎ定員も99名と大幅に増員したうえで新たな運営開始となりました。前身の東海道保育園も含め品川区で長年園長を経験されてこられた方のご尽力をいただいたこと改めてお礼申し上げます。

開設当時は待機児童問題が無視できなくなりつつあった時期でもあり、南品川地区に新たな99名定員の保育園が開設されたことや、社会福祉法人が運営する認可保育所でありながら各種教室や地域子育て



で支援など当時としては斬新な取り組みをしていたこともあり地域でも大変注目されてきました。

今でも地域のお店や会社の方とお話すると「うちの子がお世話に

なっただです」「とうかいどう保育園さんを第一希望にしたんだけど落ちちゃったんですよ」といったお話をいただくことがあります。

とごしの杜保育園開設

とうかいどう保育園が開設してから5年後の2016年4月。待機児童問題が国会で取り上げられるなどいよいよ深刻な問題として取り扱われるようになった頃、当時は品川区の中でも保育園が少ないとされていた戸越地区に新たに105名定員の認可保育所を運営することとなりました。

とごしの杜保育園は2016年4月に開設。物件も限られる中で、設計士さんがまるでホテルのようなモダンな設計で素敵に設計してくだ

さり、実際に完成間近のとごしの杜保育園を見た時は関係者が皆目を丸くしたのを覚えています。

この頃になると保育士不足も深刻で配置基準を満たすための保育士確保には大変苦労しました。

地域に支えられて

保育園を運営するということは簡単なことではありません。それは保育に従事している方なら誰もが身に染みてわかっていることだと思います。

現場の保育従事者の皆様が使命感を持って働いてくださることは本当に感謝です。

そしてもう一つ忘れてはならないのは、私たちは地域に支えられてきたということです。



例えばとうかいどう保育園ではお祭り行事の一貫で園で作成したお神輿を担いでいきますが、地域の神社では快く受け入れてくれています。とごしの杜保育園ではハロウィンの時期に商店街を歩くとお店の方が快くお菓子などを振る舞ってくれます。

他にも地域の方が各種教室の講師をしてくださったり、地域の方を中心に子育ての輪が広がっていくこともありました。

保育園では園児の成長を見守っていますが、その保育園自体も地域に支えられながら成長していくのだと思います。

子育てをめぐる政策も変化してきている昨今、保育園としての今後のあり方について地域の方ともよく会話しながら考えていく必要があるのかもしれない。



仲良しお友だち

みんな集まって写真撮影しました

とうかいどう保育園

「こんにちは～」

とうかいどう保育園のお友だちの部屋に入っていました。テーブルでは何人かのお友だちは綺麗な箱に色々な手作りの作品を入れていました。最初はお弁当箱に見えたので「お弁当かな？」と聞いてみると「違うよ～」とのこと。

そんなことをきっかけに少しお話ししました。そして最初は遠慮していたカメラですが、「ねえ、撮って」「○○ちゃんも一緒に～」

ということで、結局、仲良しお友だちみんな集まって集合写真を撮ることになりました。

撮った写真はカメラのモニターに写してみんなで見えます。

「みんなよく撮れているよ！」

保育園の仲良しお友だち。いつまでもお友だちでいてね!!



就労継続支援B型 わーくさぽーと恵の杜 続けることが大切です



介護老人保健施設恵の杜のフロアでは、わーくさぽーと恵の杜のスタッフが清掃をしたりリネン交換をする光景が当たり前のようになっています。「当たり前のよう」になるくらい日々作業をしてくださっているということです。

最初は自信がなかったことで



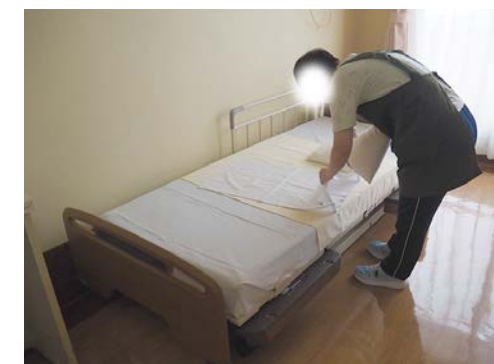
も続けていくことにより覚えることができ仕事に対する自信につながるんだと思います。

わーく恵の杜は介護老人保健施設恵の杜が開設したのと同様同時期からお仕事をいただいております。

もう20年近くになります。

この20年間、沢山のスタッフが作業をしてきました。そして一般就労が決まった方も多くいらっしゃいました。

今でも一般就労に向けて毎日の作業を続けています。今日は職員さんとも少し話げできました。引き続き頑張っていたきたいですね。よろしくお願いします!



座ったまま 体を動かします

特別養護老人ホーム めぐみ

体を動かすことは大切です。例え椅子に座っていても上半身を動かすだけでも違うものです。オフィスでも座りながらできるストレッチや体操といった取り組みをしているところも多いと聞きます。

さて、ここ特別養護老人ホームめぐみでも車椅子に座ったまま体を動かす取り組みをしました。単に体を動かすだけでなく読み聞かせを交えて頭の体

読み聞かせと 手の運動で 少しでも良い効果を期待

操にもなるよう工夫していただきました。

みなさん熱心に手を動かしてください、いい運動になったのではないかと思います。

少しでも良い効果が出るといいですね。

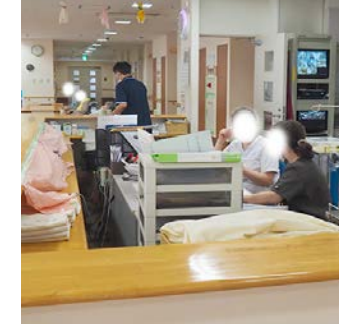
当日は職員も一緒に参加させていただきました。職員も気を付けないと血流が悪くなってしまいますからね。

ありがとうございました。



共に働く仲間を募集しています

高齢・障がい・児童福祉の分野で働きませんか



お互いに助け合うという選択

きっと私たちはどこかで誰かの助けが必要です

それはすぐ後かもしれません

ずっと先かもしれません

今できることを一緒にしませんか？

今助けが必要な方のために

募集の詳細は法人ホームページをご覧ください。
共に働けることを心待ちにしています。



広報けいせい

Keisei-fukushikai

発行
社会福祉法人恵正福祉会
神奈川県横浜市瀬谷区
阿久和南3-29-1
info@keisei-fukushikai.com

